

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： こども学 ナンバリング：2201	保育士資格取得のための 必修科目	単位数：2単位 (半期) 講義	担当教員名：金子智栄子 担当形態：単独
系列	保育の対象の理解に関する科目		
教科目			
授業の到達目標及びテーマ 1. 「こども」についての概念を理解できる。 2. 保育所・幼稚園において展開される日々の活動が「保育のねらい」に基づくものであることの認識を深めることができる。 3. こどもにとって欠かすことのできない「遊ぶ」をはぐくむために保育者としての役割を理解することができる。			
授業の概要 心理学、社会学、文化人類学等、様々な見地から「こども」を概観し「こどもの文化」を捉えた上で、「昔遊び」など実際に保育で取り入れたい内容を実践的に学ぶ。 また、現代の「こども」を取り巻く問題、保育者の役割や保育の課題等について考える。			
授業計画 第1回：オリエンテーション・こども学での「学び」 第2回：こども学の領域と子どもという概念 第3回：私がこどもだった頃 第4回：幼稚園教育要領・保育所保育指針から「こども」を考える 第5回：こどもにとって遊びとは 第6回：こどもの遊び①～自然を素材にして遊ぶ 第7回：こどもの遊び②～環境を素材にして遊ぶ（サウンドスケープ） 第8回：こどもの遊び③～廃材を素材にして遊ぶ 第9回：こどもの遊びと文化・伝統・風習 第10回：中間振り返り 第11回：こどもの「遊ぶ」を育む保育者の役割とは①～こども理解 第12回：こどもの「遊ぶ」を育む保育者の役割とは②～保護者理解 第13回：こどもの「遊ぶ」を育む保育者の役割とは③～環境理解 第14回：遊びを学びにつなげる 第15回：保育者として必要な資質とは何か 定期試験：筆記		授業時間外の学習 ・毎回の講義について復習し、学びや気づきの整理、課題などに取り組む（授業ごとに1時間程度） ・日頃からこどもと触れ合う機会を多く持ち、また公園等でこどもの様子を意識的に観察することで、自分がこどもだった頃との違いを考えておくこと。	
授業の方法 講義とグループワークを中心に授業をすすめる。小レポートなどをもとに討議し、講評する。			
テキスト 『共に育ち合う保育者をめざして』 金子智栄子(編著) ナカニシヤ出版 『保育者の力量を磨く—コンピテンス養成とストレス対処—』 金子智栄子(共著) ナカニシヤ出版			
参考書・参考資料等 適宜プリントを配布する。			
学生に対する評価 本授業の到達目標については試験(70%)によって評価し、学習意欲・自発的授業参加についてはリアクション・ペーパーや課題(30%)によって総合的に評価する。 ※教員と学生間の成績評価に関する認識を統一するためにルーブリックを活用する。			
履修上の注意 目的意識を持って授業に臨むこと。授業終了時にリアクション・ペーパー（「まとめと振り返り」用紙）の提出を求める。自分の考えを整理し、自らの言葉で伝える力を身に付けること。			
実務経験の有無	有	実務経験	スクールカウンセラー、臨床心理士
実務経験を活かした教育内容 愛着形成の重要性について具体的に理解できる授業を行う。			